



〒892-0841 鹿児島市照国町13-42 カトリック鹿児島教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部



十月五日から全国で

列福をひかえ、ともに祈る七週間

日本カトリック司教協議会列聖列福特別委員会(溝部 脩委員長)は、ペトロ岐部と一八七殉教者の列福を前に、十月五日(日)から全教区で「列福をひかえ、ともに祈る七週間」を過ごすよう呼びかけている。この祈りの時は、列福式を単なる記念や催しに終わらせるとのなく、「日本の教会の自信と活気を願う」もの。鹿児島教区でもこの期間、小教区で、修道院で、各グループで殉教者のメッセージを黙想しながら列福式の準備をすることが望まれる。



「列福をひかえ、ともに祈る七週間」の手引き表紙から

日本カトリック司教協議会列聖列福特別委員会が無料配布した十月五日(日)から始まる「列福をひかえ、ともに祈る七週間」の手引きでは、各週ごとに次のように黙想と祈りのテーマが定められている。第一週(十月五日)「み

- ことばと確かな信仰
- 第二週(十月十二日)「信仰のきずなと教会」
- 第三週(十月十九日)「ゆずれないものとまことの自由」
- 第四週(十月二十六日)「弱い立場の中に輝く希望」
- 第五週(十一月二日)「復活の福音を担う女性たち」
- 第六週(十一月九日)「父である神の思いを生きる親たち」
- 第七週(十一月十六日)「慈しみの秘跡に仕える司祭」
- 最終週(十一月二十三日)「教会・いのちの秘跡」

掲げて、それについて黙想するよう求めている。第三週の「ゆずれないものとまことの自由」では、薩摩の殉教者・レオ税所七右衛門の禁教令下での受洗

レオの列福を祝し記念碑建立

—除幕式は11月16日川内教会で—



薩摩の殉教者レオ税所七右衛門が列福されるのを受けて、鹿児島教区ではその縁の地に記念碑を建

立することにし、その図案を発表するとともに記念碑建立に要する費用の募金を行うことにした。川内教会敷地内に建立されることになった「薩摩の殉教者レオ七右衛門顕彰碑」(左図)は高さ約二メートル。色鮮やかな桜御影石

に、レオの顔(ザベリオ宣教会 マウロ・モラレッティ神父作)が施される。施工を担当するのは高木石材株式会社(熊本市)で、同社はこれまでに各地のカトリック関係の石碑の施工に携わった実績を持つ。また代表取締役の高木光政氏は、浦上四番崩れで津和野に流された浦上の信徒のリーダー高木仙右衛門のひ孫に当たる。

の決意の言葉「他のことであれば、すべて従うことができず、救いにかかわることならば、受け入れることができませぬ」が掲げられている。鹿児島教区の殉教者のこの言葉はもろろだが、各週の他の殉教者についても学び、祈り、分かち合うことが心から求められている。

尚、「薩摩の殉教者レオ七右衛門顕彰碑」除幕式は十一月十六日(日)午後二時から川内教会で、ミサ、除幕式、茶話会で実施される予定で、現在準備が進められている。

給料日まであと一週間余りというある日、職場の同僚と「所持金コンペ」を行った。どっちの財布が軽いのか、要するにどっちが貧乏かというものの。自信はあったが完敗。三百円の所持金で勝利を確信していたのに相手はその半分だった▼独身時代、昼食時には様々な食事、特にめん類を好んだからラーメンを求めた。「まともに夕食は食べないから、昼食ぐらいは」という言い訳も手伝って、昼食で浪費した。それが今はカツ丼でさえ稀となった▼四十年ほど昔、白ご飯を海苔で包みこんだ真つ黒いオニギリは遠足時の一番のご馳走だった。他の子の巻きずしやおいなりよりも、おかずはなくとも母が握ってくれた大きな大きなオニギリが一番だった。皆の前で、誇らしげに食べた。そして今、特にここ数日の昼食は、握ってくれる人は変わったが、当時と変わらないほどかい真つ黒の爆弾オニギリが一個。ただ違っているのは私の心の有様。所持金が...という理由からか、幼

YET

所持金 僚と「所持金コンペ」を行った。どっちの財布が軽いのか、要するにどっちが貧乏かというものの。自信はあったが完敗。三百円の所持金で勝利を確信していたのに相手はその半分だった▼独身時代、昼食時には様々な食事、特にめん類を好んだからラーメンを求めた。「まともに夕食は食べないから、昼食ぐらいは」という言い訳も手伝って、昼食で浪費した。それが今はカツ丼でさえ稀となった▼四十年ほど昔、白ご飯を海苔で包みこんだ真つ黒いオニギリは遠足時の一番のご馳走だった。他の子の巻きずしやおいなりよりも、おかずはなくとも母が握ってくれた大きな大きなオニギリが一番だった。皆の前で、誇らしげに食べた。そして今、特にここ数日の昼食は、握

新風

ユダヤ教徒からキリスト信者になったパウロはイエスと同じような理由で大祭司からローマ総督に訴えられます。その

訴状の内容は以下のようです。「...実は、この男は疫病のような人間で、世界中のユダヤ人の間に騒動を引き起こしている者、『ナザレ人の分派』の首謀者であります。この男は神殿までも汚そうとしたので逮捕いたしました。」(使徒言行録23章5〜6節)「ナザレ人の分派」というのはイエスがナザレ出身なのでユダヤ教徒か

聖パウロ年に寄せて(その2)

ら見たキリスト信者のことです。その後、パウロに対する審判は下されず、アグリッパ王の下で審議されたあと、無罪放免のところでしたが、パウロはロー

マ帝国の市民権を持っているというところでローマ皇帝に上訴すべくローマに向かうことになりました。ローマでの裁判記録はありますが、暴君ネロ皇帝の迫害の

訴状の冒頭は次のようになっています。「フェリックス閣下、閣下のお陰で、私どもは十分に平和を享受しております。また閣下のご配慮によつてい

2008年 鹿児島教区評議会

みことばに触れ、食べ、生かされる。

◆ザビエル教会 10月19日(日)13時~17時

◆名瀬聖心教会 10月26日(日)13時~17時

たものを今、ちよつぱり惨めに思うようになっていた▼昨年の夏、本部がエアコンを止めながらも猛暑に耐えた時、風鈴の音で風の到来に気づいたように、また何かに気づかなければならない、そう思う。一個のオニギリが失いそうになつてい

解放のために流される血

※参加者を温かく迎える
※主をお招きするための
祈り、聖歌でも可

※リーダーによる説明
(15分)、今日の講座

の流れを説明(司会者)

・分かち合いのルールについて、①自分自身を見つめ実際の体験を素直に話す。②一人で、話した
③ただ話すのではなく聴くことを大切に。④
からそれないように。⑤悩み相談にならないよう
に。⑥分かち合われた
内容は他言しない。⑦人
が分かち合ったことを評
価・批判しない。⑧キ
リストが語って下さるこ
と、共にいて下さること
を感じ取るように。

北薩地区宣教奉仕者

(信徒使徒職) 養成講座 ⑩

出水教会主任司祭 大松正弘

・誰かのため、国のために
自分の血を流した人々
の写真をテーブルの上に
数枚用意する。ローソ
ク、十字架、テーブルを
中心に円形に着席。

神は歴史の中で苦しむ
人々の叫びを聞き、神に従
う人々と共にいて、彼らを
支えてこられました。キリ
ストに従って、友のために
血を流した人たちは沢山い
ます。先日もアフガニスタ
ンでその国の人々のために
働く一人の日本人が殺され
ました。

今日はアメリカ合衆国で
苦しむ人々のために闘って
きたキング牧師の歩みを通
してキリスト者としてどの
ように信仰を生きていけば

公共の建物で白人と同席す
ることが禁じられていた。
市当局と白人社会は逮捕や
暴力により運動を阻止しよ
うとしたが、一九五六年
十一月、連邦最高裁が公共
バス内での人種隔離を違憲
とする判決を下し、運動は
勝利を収めた。

キングは一躍、公民権運
動の指導者として脚光を浴
び、五七年に南部キリスト
教指導者会議(SCLC)
を設立、精力的に運動を展
開して行った。彼が三十九
歳になった一九六八年四月
十八日あるホテルのバルコ
ニーで暗殺された。彼のア
メリカ社会の不正義に対し
て立ち向かったことが暗殺
の理由。彼が闘ったのは黒

から人種差別的な市バスに
憤慨していた黒人達は、一
夜にして組織化され、バス・
ボイコットを決定した。こ
の活動は一年以上続き、市
内在住の五万人の黒人と良
心的な白人が参加した。

この活動を支えた中心人
物が二十六歳の若き、バ
プテスト派の牧師M・ルー
サー・キングだった。南部
で生まれ北部の大学で学ん
だ彼はガンジーの非暴力抵
抗思想に強い影響を受け、
この運動を人間正義の闘い
と捉えて、整然とした抗議
行動によって市バス車内の
人種隔離廃止を目指した。

この人種差別的な法律によ
って黒人の子ども達が学
校から締め出され、バスや
公共の建物で白人と同席す
ることが禁じられていた。
市当局と白人社会は逮捕や
暴力により運動を阻止しよ
うとしたが、一九五六年
十一月、連邦最高裁が公共
バス内での人種隔離を違憲
とする判決を下し、運動は
勝利を収めた。

キングは一躍、公民権運
動の指導者として脚光を浴
び、五七年に南部キリスト
教指導者会議(SCLC)
を設立、精力的に運動を展
開して行った。彼が三十九
歳になった一九六八年四月
十八日あるホテルのバルコ
ニーで暗殺された。彼のア
メリカ社会の不正義に対し
て立ち向かったことが暗殺
の理由。彼が闘ったのは黒

い

1 私達の周りに苦しむ
人々のために血を流し
た人を知っていますか？
知っている人を出来るだ
け沢山挙げてください。

2 その人々は自分に・周
りの人に・社会にどの様
な影響を残しましたか？

※小グループに分かれて
の分かち合い。自分
の生き方と照らし合
わせて(各問いかけ
について10分、全体
では30〜40分)

※質問は一つずつ、分か
ち合いと報告しなが
ら進んでいきます。
出エジプト記十二章1節

14節を読んでみましょ
う。(省略)

①自分達が解放されたい
と思っていることは何です
か？書き出してください。
②解放されるために必用
なものは何だと思います
か？

(隣同士での分かち合い
と全体での発表)

エジプトの王に對抗して
奴隷の状態であったイスラ
エルの人々を立ち上げらせ
たのは神への信仰であり、
その信仰が彼らを解放した
のです。同じように、ア
メリカの黒人達を解放した
のはキング牧師の神への信
仰による愛と自己奉獻です。

問いかけ(まず五分間そ
れぞれ自分を振り返り、必
要に応じてメモして下さい

奉獻のしるしでした。神へ
の完全な自己奉獻が苦しむ
人々を解放するのです。解
放とは完全に自己を与えつ
くことによって与えられ
るのです。

1 リーダーによるまと
め。内容についての質問や
コメントが出されます。

2 祈り(自分を神の前に
置き、振り返る。10〜15分
サダナの祈りによる)

今日の一日、何がありま
したか？ 私はキリスト
者として人々の苦しみや圧
迫に対して責任ある行動を
とってきたでしょうか？
または、社会の様々の問題
に対して責任ある行動をし
てきたでしょうか？ 社会
に対して、私はどのように
変わることが求められてい
るでしょうか？

十月はお休みです。
次回は出水教会で十一月
九日(日)午後二時から行
います。

司教執務
室 便り

愛は伝染する

先月二十七日、一日マリ
アポリがあった。帰国した
ばかりだったので、昼過ぎ
ちよっとだけ顔を出した。
ちよっとホームシアターの
時間で、ハート型の台紙に
愛の文字が書かれたタグが
額に貼られると、急にお父
さんの肩もみをしたくなっ
たりするというコミカルな
ものだった。「愛は伝染す
るので気をつけましょう。」
そんな風な意味の解説にと
も同じ愛のタグが会場に
も配られた。

先日、「小さな自分で一
生を終るな！」(三笠書
房)という文庫本を買った。
「知的生きかた文庫」のシ
リーズの一つのようだった。
恐らく宮崎の幸島の
ことだと思うが、「海水で
芋を洗って食べるサル」の
話が紹介されていた。一匹
が始めたそれが仲間伝

播し、すべてのサルが芋を
洗って食べるようになった
という話は有名。ところが、
お互いに交流のない数百キ
ロ離れたサル群れでも同
じ現象が起こったのだと言
う。同じ著者はこう続ける。
だから、「かなりの数の人
間が協同的で非侵略的な考
え方をしている、やがてそ
の数が、限界質量に達した
ら戦争は決して起こらない
だろう。」(一一六頁)
要するに、この私が先
になろうとかイライラした
り、人のことを批判したり
することなく、また、どん
なに辛いときでも現状を嘆
かず、ましてや人を恨むこ
ともなく淡々と神の計ら
いの深みに身を置く平和な
持ちを維持できるなら、私
の平和で周りの人を平和に
できるということ。この著
者がそのための「練習をす

る」と繰り返し続けているこ
ろにも注目したい。かねて
「信仰するにも練習がいる」
と言っているのが我が意を
得たりだ。
どうだろう。この著者は
心底そう信じ、実際にそう
しているのだという。周り
の出来事や人々に支配され
ることなく、自由闊達に自
分らしく生きていけるとい
う。そうすると、そんな自
分の穏やかな状況が会
う人々をも平和にしていくと
いう。そんな実例がたくさん
紹介されている。そんな
生き方に感染したたかな
信者こそが愛と希望のあ
かしびと。



+KABAYAN SEKSIYON+ "Sumasampalataya Ako"

Sa unang artikulo ng "Pagpahayag ng Pananampalataya", tatalakayin natin ang "Sumasampalataya ako". Napag-aralan natin na sa pamamagitan ng pananampalataya, ang tao ay buong ibinibigay niya ang kanya- ng talino at kalooban sa Dios. Sa madaling sabi, "ang pagsunod ng pananampalataya". Ang pagsunod, (galing sa salitang Latino--ob-audire, "makinig o napakingan") sa pananampalataya ay ibinibigay ng may kalayaan sa salitang narinig, dahil ang katotohanan ay ginagarantiyahan ng Dios, na siya mismo ang Katotohanan. Si Abraham bale ang halimbawa ng ganitong pagsunod na inaalay sa atin ng Banal na Kasulatan. Si Birhen Maria ang pinakaperpectong sumunod sa ngalan ng pananampalataya.
Si Abraham "ama ng lahat nang nananalig". Sa sulat sa mga Hebreo, sa kanyang kadakilaan kasabihan ng pananampalataya ng mga ninuno ng Israel, lalo na ang pagbibigay halaga sa pananampalataya ni Abraham. Sa pananampalataya sumunod si Abraham pagkatawag sa kanya, at pumunta sa lupaing magiging kanya. Sa pagkat umalis siya nang hindi nalalaman ang pupuntahan". Dahil sa pananalig siya ay namuhay bilang isang dayuhan at manlalakbay patungo sa lupang pangako. Sa pananalig, si Sara ay bininyayaan na magkakaroon ng isang anak na ipinangako. Sa pananalig, inialay ni Abraham ang kaisa-isa niyang anak. Natupad ni Abraham ang sinasabing pananalig sa sulat sa mga Hebreo 11:1 "Ang pananampalataya ay pagkapit sa inaasahan, katiyakan sa mga di nakikita". Nananalig sa Diyos si Abraham at dahil dito kaya siya kinilalang matuwid. Dahil siya ay "matatag sa kanyang pananalig" at tinagurian si Abraham na "ama ng mga nananalig". Kaya tayo rin mga bininyagan ay binigyan din nitong biyaya ng pananampalataya o pananalig. Nananalig din tayo sa mga bagay na di natin nakikita at sumusunod din sa turo ng Simbahan. Tulad ni Abraham siya ay lubusang nananalig sa pangako sa kanya ng Dios. Dapat ganon din tayo, huwag tayong mawalan ng pananalig at tiwala sa Dios, dahil alam ng Dios ang mga pangangailangan natin sa araw-araw. Patuloy natin ibigay ang pananalig sa Dios.

少年時代の夢叶って聖職者に

四條淳也さん終身助祭に叙階

教区の日(九月十五日)鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂で終身助祭叙階式が行われた。この



按手を受ける四條さん

日、終身助祭の聖位に上げられたのは、神奈川県座間市に家庭を持つ奄美大島出身の四條淳也さん(六十五

歳)。教区で三人目の終身助祭となった。奄美市名瀬出身の四條さんは、中学時代、今は亡きジェローム神父(コンベンツアル会)に神学校に行くことを勧められたが周囲の反対で断念。その後、親戚を頼って居住地を東京へ移し工業高校へ進みその後、就職、そして家庭を持った。しかし探求心旺盛な四條さんは、働きながら夜学等で学問を続ける。そして定年後には上智大学神学部へも進み見事に

ロザリオの祈りに熱中

枕崎幼稚園児



①園長の泉神父と一緒に祈る園児
②窓に貼られたマリアさま

マリアさま 大好き お友だちをもっと下さい

朝食が終わって大人は眠気を覚える頃、職員室のドアが開いて、「失礼します。先生、お祈りでくす」その

日の当番さんである。庭先にはもう二、三人の子どもがロザリオ片手にお聖堂に走っていく。宝物のようにロザリオを握りしめた片手をポケットに入れて、少人数の幼稚園からお聖堂の最前列右側、左

側に別れて一列で満員だ。「なにかお祈りしたいことは？」「はい。今日休んでいる○○ちゃんのために」「世界中の食べるものがないお友だちのために」など意向が出る。わずか一連だが子どもたちにとっては真剣な祈りだ。窓に貼られたマリアさまを囲むロザリオの玉にその日の色を貼っていく。(写

卒業した。それらの知識と人柄でこれまでに厚木、町田、世田谷などのカトリック教会で信徒のリーダーとして活躍し、また終身助祭への叙階も望まれていたが、在籍していた東京や横浜教区が同制度の中止や終身助祭養成コースを停止したため、瀧憲志神父(古田町)の勧めもあってその働き場を鹿児島に求め、今年

短信

▼スピリチュアル講演会

ドイツ初のエイズホスピス「ハウス・マリアフリーデン」所長ティール・ケルコピウスさんを招いての講演会「エイズ患者さんと共に生きる」が、八月二十三

▼一日のマリアポリ

九月七日(日)教区本部で、マリアの町を意味し、

▼ザビエル教会でアルファコース始まる

九月四日(木)からザビエル教会でキリストについて学ぶ「アルファコース」が始まった。

一月、教区の終身助祭候補者に認定されていた。午前十時から始められたミサの説教後に始められた叙階の儀では、まず養成に携わってきた竹山昭神父が司教に受階者を「終身助祭として相応しい者」として推薦すると、これを受けた司教は助祭団に加えることを高らかに宣言。その後、助祭の働きについての訓話

を受けた受階者は、三百人あまりの信者たちが熱く祈る連願の後、司教から按手を受けて、五十年前には叶わなかった夢とも言える聖なる位に上げられた。終身助祭となった四條さんは、妻・真貴子さんの両親の出身地である喜界島で、信者の支えとなり周囲に宣教する任務に就くことになる。



初代教会のように生きようとする集い「マリアポリ」が開かれた。

川内教会で見つけました！ ためになる「殉教地図」



あとわずかで列福式。レオ七右衛門を福者として頂く教区ですが、皆さんの教会ではどのような方法でムードを盛り上げていますか。

川内教会の聖堂の壁には日本全国の殉教者たちを伝える、手作りの地図が丁寧な解説とともに貼られてあります。

10月 今月の暦

- 5日(日) 年間第二十七主日
- ▼牧山田一神父叙階記念日(一九六一年)
- ▼デクルス神父命日(一九八〇年)
- 10日(金) 福崎英雄神父叙階記念日(一九八九年)
- 12日(日) 年間第二十八主日
- ▼アッシュヤー神父霊名(マックス)
- 18日(土) 聖ルカ福音記者
- ▼内野洋平神父霊名
- 19日(日) 年間第二十九主日
- ▼世界宣教の日(献金)

世界にはまだキリストを知らない人がたくさんいます。日本でもわたしたちはキリストを知らない人たちに囲まれて生きています。キリストを伝えることである宣教は、神の子ども、キリストの弟子となつたわたしたち皆に与えられている使命です。

- 20日(月) レズンブートル会例会
- 24日(金) 大水如安神父命日(一九九四年)
- 25日(土) 東研神父叙階記念日(一九六四年)
- 26日(日) 年間第三十主日
- ▼教区評議会・名瀬聖心教会・13時
- 27日(月) 大松正弘神父霊名(ジェラルド)
- 28日(火) 聖シモン 聖ユダ使徒
- ▼司祭評議会・教区本部・10時
- 31日(金) ミタマヤ神父命日(一九八四年)

聖パウロ年特別記念絵はがきをどうぞ

カトリック谷山教会

谷山教会では、聖パウロ年がスタートしたのを記念して「聖パウロ年特別記念絵はがき」(ムイベルガ神父監修)を作製した。イコン十四種類(十四枚)のBセットと聖パウロ物語十六種類(十六枚)のCセット(定価はいずれも千七百円)とBセットとCセットを合わせたAセット(定価三千円)が用意されている。詳しくは谷山教会まで(☎〇九九一―二六八―一〇八四)

「みことば」——神さまからのラブレター—— みことばに触れ、食べ、生かされる③

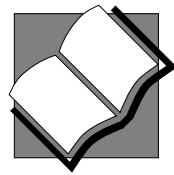
大熊小教区 久保裕 己

先日、ある信者の方からこんなことを聞きました。「聖書ってなんだか難しいですね。読んでいると眠くなってしまいます。毎日読むなんてなかなかできませんよ」

他の方はこんなことも言っていました。

「私は聖書を毎日読んでいます。読み飽きてしまいました。満足です。分かった必要ないわ」

聖書って専門書でしょうか？それとも単なる小説でしょうか？この会話は私にとって聖書とは何なのかを



「良い知らせ」それは「神

さまが私たちを愛して下さっている」ということ。

神さまが人間を愛しているからこそ、「みことば」であるイエスさまを私たちに与えてくださった。イエスさまが天に昇ってからも神さまは私たちをいつまでも愛していることを伝えられた。そのために聖書があるのではないのでしょうか？

「初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。言は肉となって私たちの間に宿られた」(ヨハネ一章)

父さま、ケルン大会に参加し一人ひとり、それぞれの場所で活動した青年の皆さん、信仰を通して皆さんの恵みをいただき生活する私自身…。相手を思いやり、愛を伝えるならば、自分も満たされず楽しむことができないのです。一人ひとりが使命を持ち、認め合い、補い合う気持ちが大切だと教えてもらいました。

感謝と喜び、これからの信仰生活にWYDの体

WYDに参加して②

母間教会 重久 豊



シドニーでのWYDに参加して同じ信仰を持った人たちが世界中から集まり、同じ目的のため行動を共にする日々を送りました。そこは自分自身を見つめ直し、気づきを感じたことをお互いに分かち合える環境で、とても新鮮で充実した毎日を経験しました。「巡礼つ

ていいなあ」と感じることもできました。そして私は、たくさんの人に協力していただき、参加できたことに気づきました。自分が感じる以上のものを、大きな恵みとして与えてくれる教会、教会は「居心地のいい場所」と気づかせてくれた徳之島の信者や神



験を生かし成長していくことができますように。アーメン

ザビエル渡来四百年を記念して建てられた聖堂の屋根の瓦降ろしを思い出しながら書いています。大変でした。その節は有難うございました。一九九八年のことです。丁度十年前です。二〇〇七年四月十五日の現カテドラルの起工式の時に旧聖堂再生プロジェクトを立ち上げ、以来、着実に活動しています。活動は四チーム構成です。「チーム1」は労働・技術、「2」は企画・広報、「3」は資金・工事、「4」は精神的支援です。

完成の立柱式(四月六日)には鹿兒島からバスで来て下さり、保存部材の移動・仮設倉庫内の整理をして頂きました。嬉しいことです。現在は大工さんが二人、保存部材の修復をしています。大工さんの指導を受けながら、ボランティアの方二人も修復をしています。

旧ザビエル聖堂再生プロジェクト継続中 力を知恵をお貸しください

NPO法人文化財保存工学研究室 土田 充義

働け「実に素晴らしいことです。水・木曜日をボランティアの日として、昼食しか出せませんが、わいわいがやがや皆で再生を目標に励んでいます。遠くに住む皆さんも是非お知恵を下さい。どんな企画をしたら多くの方々に聖堂再生を伝えていただけるのか、資金を集めることが出来るか。お金が先にあるのではなく、知恵が先にあると考えています。

す。出費を少なくする。にも知恵を出していただきます。でも後から、お金がつかない場合もあります。私達のプロジェクトを支えて下さるのは「チーム4」精神的支援です。病床にある方も聖堂再生に思いを寄せて下さっています。いろいろな専門的な方に力を貸していただけるのも、楽しく食事を作って下さるのも、物質的支援をして下さることも精神的支援が根底にあるからだと感じずにはおれません。やはり聖堂再生プロジェクトは皆で進め、再生へ歩んでいることを実感します。募金先：郵便振替口座番号〇一七二〇一—四四三二一 加入者：NPO法人文化財保存工学研究室(郡山司教様の寄附行為の許可を頂いています)



1・14 私たちは尊敬する人や愛しい人からの手紙は何度も読み返し、写真と共に大切にします。手紙を読みながらその人のことを思い出し、いつの日か逢えることを楽しみにしています。離

れて暮らしていてもいつもその人のことを思い出します。手紙を読むことが難しいでしょうか？大好きな人を思い出すことに飽きる時があるでしょうか？

私が聖書を読み、また朗読する時、いつも神さまからのラブレターだと思つて読んでいます。「喜びなさい。いつまでも愛していただきますよ！」という愛だらけのメッセージが所狭しと書かれていたからです。自然と気持ちを込めて大切に読むようになりました。神さまからの愛と喜びに満ちた手紙は、専門知識や解釈書に頼って汗水流して忍耐を持って読むのではなく、素直に愛にこたえる気持ちを保持して喜びのうちに読み続けていきたいと思います。

文芸

【俳句】
国分教会 政ノ子

十字架を見上げる瞳天高し
純心学園 山頭信子

雷鳴にミサ行き迷う床の中
純心学園 川上 和

こおろぎやしじまの月の薄明かり
鹿兒島 春山マリ子

吹く風にハート揺らめく秋深し
鹿兒島 徳永ノブ子

秋の色とりどり活かるマリア像
鹿兒島 春山マリ子

生かされる自然の中の幸せを今日も祈りて夜が明け染める
鹿兒島 春山マリ子

鴨池教会 前田儀子
オランダの大聖堂で求めしと首かしぐ聖母像友より届く

修道服の白きガンプの似合ひたる若き妹ころに住める
純心学園 岡 俊郎

甲子園やる気いっばいの命故若人をたたえ我も学ばん
純心学園 川上 和

病し日も薩摩の宣教夢に見て逝きし司祭の思いぞ尊し
名瀬 林 明子

夏の雨うでにだかれしおさな子はしあわせのぶんねいきをたてて
名瀬 林 常広

想い出の家族の写真今は亡き父母の写真見吾一人泣く
名瀬 林 常広

へえ、日本の教会は今こうなんだ・・・ザビエル

カトリック新聞は、日本のカトリック教会唯一の週刊全国紙です。全国、海外の購読者様のお手元へ毎週配達いたします。また、全国のサンパウロ・女子パウロ会書店でも販売しております。

1部本体価格150円(税・送料別)
購読料金(前納、税・送料込)
半年4740円・1年9480円

見本紙贈呈いたします

〒115-8585 東京都江東区豊洲2-10-10 日本カトリック会館5階 カトリック新聞社
TEL 03-5632-4432 FAX 03-5632-7030 Email kodoku@cwjpn.com